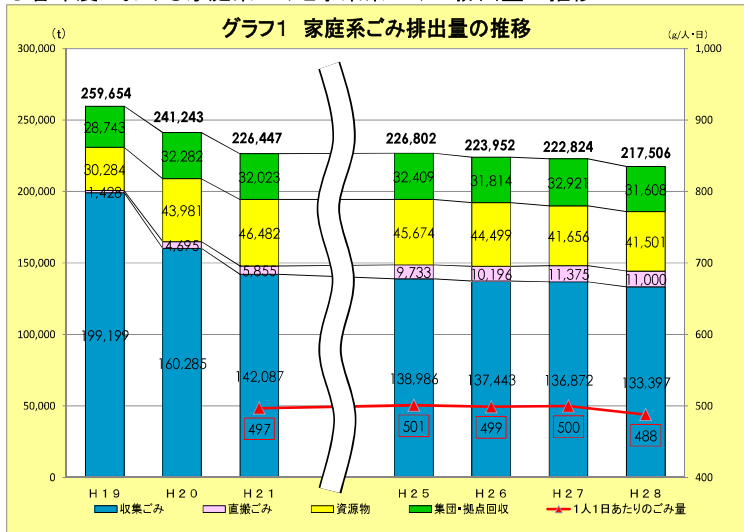
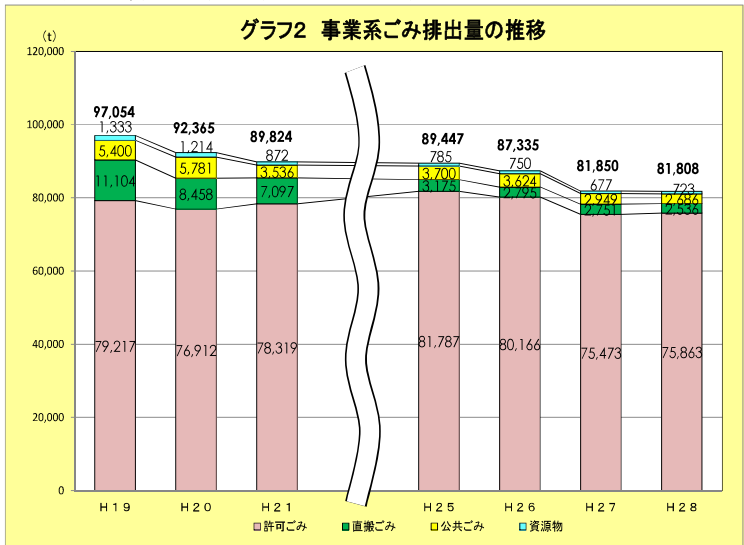


近年のごみ量の推移等について

●各年度における家庭系ごみと事業系ごみの排出量の推移

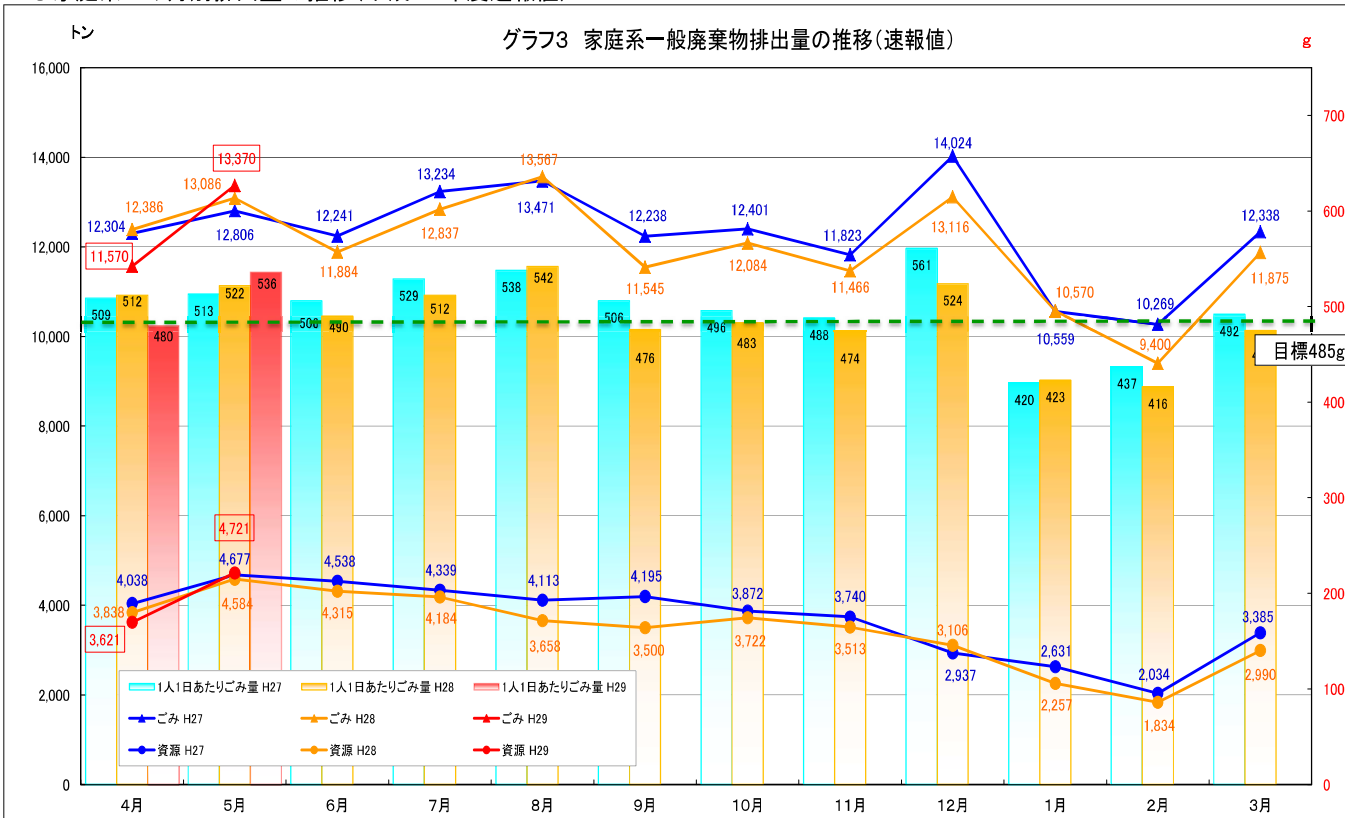


収集ごみ・・・燃やすごみ、燃やさないごみ、普通ごみ、粗大ごみ  
 直搬ごみ・・・家庭系の処理施設への直接搬入ごみ  
 資源物・・・家庭系収集資源物(プラマーク容器包装、ペットボトル、びん、缶、特定5品目、古紙類、枝葉・草)  
 集団・拠点回収・・・集団資源回収量と拠点回収量の合計  
 1人1日あたりのごみ量=(収集ごみ+直搬ごみ(有料))÷人口(人)÷年間日数(日)  
 ※直搬ごみを家庭系と事業系で分けて統計をとるようになったのは新制度開始以降



許可ごみ・・・一般廃棄物収集運搬業の許可業者が排出事業者から委託され搬入したごみ  
 直搬ごみ・・・排出事業者が自ら処理施設へ搬入したごみ  
 公共ごみ・・・側溝汚泥・不法投棄・動物の死体・ボランティア清掃など  
 資源・・・食品残渣(学校給食・事業系食品)の飼料化・堆肥化及び公共施設から収集される資源物

●家庭系ごみ月別排出量の推移(平成29年度速報値)



●リサイクル率

平成28年度:28.0%(平成27年度:27.9%、平成26年度:27.9%)

【平成28年度家庭系ごみ量について】

○収集ごみが前年度比で3,475t減(2.5%減)

- 内訳
- ・燃やすごみ・・・2,692t減少(2.2%減)
  - ・普通ごみ・・・456t減少(4.3%減)
  - ・燃やさないごみ・・・196t減少(5.3%減)
  - ・粗大ごみ・・・131t減少(4.4%減)

○直接搬入ごみが前年度比で375t減少(3.3%減)

○集団・拠点回収が前年度比で1,313t減少(4.0%減)

- ・古紙類の集団回収・・・1,286t減少(4.2%減)
- ⇒新聞、段ボール、雑誌・雑がみにおいて前年度より減少

○収集資源物が前年比で155t減少(0.4%減)

- 内訳
- ・プラマーク容器包装・・・147t減小(1.7%減)
  - ・ペットボトル・・・25t増加(2.1%増)
  - ・飲食用・化粧品びん・・・95t減少(1.4%減)
  - ・飲食用缶・・・179t減少(8.2%減)
  - ・特定5品目・・・11t減少(2.6%減)
  - ・古紙類・・・449t減少(7.0%減)

【平成28年度事業系ごみ量について】

○許可搬入が前年度比で390t増加(0.5%増)

【リサイクル率について】

○リサイクル率は前年度と比べて0.1ポイント増加